

## 【著者紹介】

### 福原 之織（ふくはら しおり）

1964年広島市生まれ。エリザベト音楽大学宗教音楽学科パイプオルガンコース卒業、同大学専攻科修了。さらに2年間の研究生生活を経て、ウィーン国立音楽大学に留学し、第1ディプロムを審査員満場一致の最優秀賞付きで取得し帰国。

その後、エリザベト音楽大学大学院で研鑽を積み修士課程修了。その間、各地で演奏活動を続けながら、学校法人鶴学園広島工業大学附属中学校・同広島高等学校（現・広島なぎさ中学校・高等学校）に非常勤の音楽科教員として勤務。1996年度から専任となり、中学校教諭として同中高の音楽科シラバスの改訂、音楽系クラブの充実などに着手する。

2003年学校法人鶴学園なぎさ公園小学校の開校に伴い、初年度は副校長を務め、翌年第2代校長に就任。「魅力ある学校づくり」「私学独自の特色ある教育の創造」に日々奔走する。学校内では《音楽》と《にんげん》（道徳）の授業を担当し、子どもたちのふるえる心（感性）を、豊かにしなやかに育てるために力を注いだ。なぎさっ子にとっては「パイプオルガンを弾く校長先生」であった。

2011年春、なぎさ公園小学校校長を退き、学校法人鶴学園初等中等教育研究センター長に就任。2012年4月より、エリザベト音楽大学音楽文化学科教授。